

1

あつい時はうちめ

あついがつづいてい

温度計をじつと見ていても

ずかしく下らない

急冷着にしてゆく

あつし暑温本下つたうわさ

と思つてい

暑温本 宿々として 入つても

わむれるくら

ころく している だけだも

今年 午あ一時

まつと暑温は下

もうかしの手地

今年の あつさけ 今まで 知らず

まわりの人も 言つてい

六月はつ長ばかり

七月 八月 と夏はつづく

この終で つか

と時折 心配

夜中の二時、三時になつても

気温 下ろす 7いじハットハ

気木ついにろ

朝古侍 汗ビツシヨリ

幾道 ニ十五度をもぎてい

うらわ ぶ喜半でみあぐ

とほわくうらわ を勤かす

うらわ ぶたより

つやたいふ茶その子 又うらわ

このうらわ 東南アジアの 手づらり

丈夫な茶を干し ぶたのて

あみこんでみる

昔 息子にもう、て うらわ だ

2024
6/9